

平田直巳はこんな経験からできている

消防団長として学んだこと

防災

- 台風・洪水対策の重要性
- 決断力、市・県・国との連携強化

消防団に33歳で入団。最初は訓練や火災の現場出動がキツかったというのが正直なところでした。そんな中、台風被害の対応で現場に立った時、水害被害対策の重要性を肌で感じました。その後、団長を拝命。緊急時の対応や現場での決断、市や県・国との災害時の連携など、多くのことを学ばせていただきました。

さらに、東日本大震災の津波や豪雨での堤防決壊の被害を見て、他人ごとではなく「磐田市全体の課題でもある」と痛感しました。



空手指導者として学んだこと

スポーツ

- 子供たちの育成、指導者の養成
- 地域のスポーツ振興

友人に誘われて22歳で始めた空手。空手を通して自らを律する強さを学び、そして、指導者として人に教える責任、子供たちの育成や指導者の養成の重要性、支部長として組織の運営、他の地域スポーツ団体との連携も含めて、多くの学びを得ました。

ビジネスとは違う、ボランティアとしての視点や人との協働、地域スポーツ団体との交流が今も多くの気づきを与えてくれます。

PTA 会長として学んだこと

PTA

- みんなの参加意識を作る
- 保護者の学びが子を育てる

小学校、中学校とPTA活動に携わった中で、PTA会長選出が一部の人たちで決められていた仕組みから、全員が選考に公平に関わるという目的で改善案を提起しました。結果として「会長は自分たちが選んだから」と活動への協力意識が高まったことも、大きな勉強になりました。

また、父親の参加も促進し、多くの保護者が学校と連携していくことを目指しました。そして子供たちを育てるには、まず保護者自身の学びが大切だと気づきました。

中国現地法人初代社長として学んだこと

現地法人

- 異国でのコミュニケーション
- 初めてのことに向かうリーダーシップ

平成22年、会社が中国山東省青島に現地法人を立ち上げることになり、初代社長に任命されました。日本人スタッフ2名と現地に入り、通訳など現地で4名を採用、工場物件探しから、法人の登記・設立手続き、稼働通常運転まで約2年間携わりました。

日本とは勝手が違い次々に出る問題を課題に落とし、的確な情報収集、交渉、そして迅速な決断が求められました。そうした状況を乗り越えるとき大きな力になったのは、人種を超えたチームの和でした。



磐田市まとい会の法被を着て



消防団団長時代

会社の経営サイドとして学んだこと

経営

- 事業の拡大を目指す構想力
- 人・物・資金を効率よく動かす

会社では事業部の理事を拝命し、事業の展開についての決定などに携わってきました。

事業拡大のために事業環境・自社の強み・育てる分野・縮小する分野など多くを分析し構想をしていく必要があります。その実現のためには、いわゆるヒト・モノ・カネをどう活かすかという、具体的な行動計画が不可欠です。

ビジネスの現場で構想力、行動力、そして結果を出す意志力等多くを学ぶことができました。



現在も火曜と金曜に指導



中国現地法人の外注先工場視察



山東省青島の現地法人



リーダーシップ

地域の声をカタチに

行動力

構想力

学んできたこと・体験してきたことを磐田の力に!